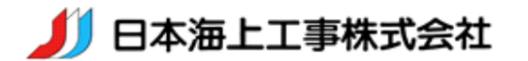


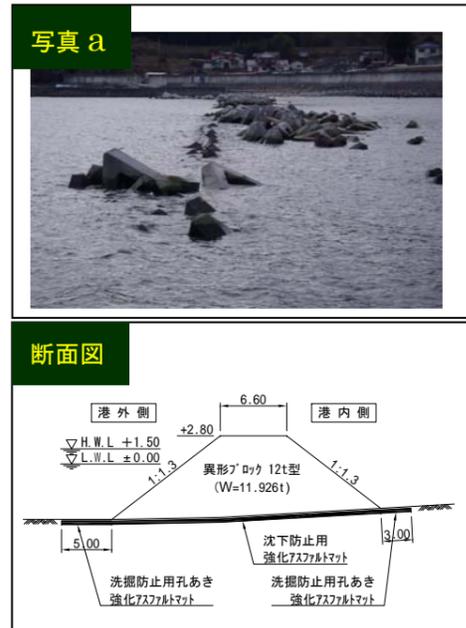
大津波から構造物を護る洗掘防止用アスファルトマット



2011年3月に起きた東日本大地震時に発生した大津波により、多くの海岸構造物が被災した。震災後に現地調査をおこなったところ洗掘防止用アスファルトマットを使用した突堤・離岸堤等は、消波ブロックの飛散は若干みられたもののマット上のブロックは安定しており、洗掘による堤体の沈下は見られず、アスファルトマットを使用する事による構造物の安定性が実証された。



1. 岩手県・門の浜漁港(離岸堤) (推定換算入射津波高; 12.0m)



3. 宮城県・仙台南部海岸(ヘッドランド) (推定換算入射津波高; 10.0m)



2. 宮城県・大曲海岸(突堤・緩傾斜堤) (推定換算入射津波高; 11.0m)

